

1. 前回の指摘事項について

(推進会議)

指 摘 事 項	回 答
① 成果目標値については国の設定値通りか。少しハードルが高いように感じるが。	目標設定につきましては、国の目標値に沿って設定します。国や県と連携を図り、適切な実施に努めます。
② 計画の位置づけの図で、鳥栖市健康増進計画も記載すべきでは。	追加します。
③ 設定する成果目標と、国が示した成果目標で相違している部分がある。	成果目標は、県が設定するものと市が設定するものがあり、設定する成果目標については市が設定するもののみ記載しています。

(策定委員会)

指 摘 事 項	回 答
① 重度訪問介護については、ニーズがないのか事業所が不足しているのか。	居宅で重度訪問介護を使うよりも、施設入所を選んでいるのではと思います。
② グループホームについては、ニーズがないのか事業所が不足しているのか。	本人や家族の意向や事業所とのマッチングの問題で利用できていない部分はあると思います。今後地域移行が進むと、受け皿不足の問題がでてくる可能性があります。
③ 意思疎通支援事業は、申込が減っているのか担い手がいないのか。	要約筆記については申込が減っているので、周知を図っていききたいと思います。手話奉仕員については、担い手不足の問題があるというふうに聞いています。
④ 移動支援は、成人の地域移行という部分で重要になっていると思うが、使い勝手について声があがっていないか。	利用している人数が減っているわけではないので、ニーズはあると思っています。使い勝手については、そういった声は聞いておりません。担い手が増えていけば実績は増えていく可能性もありますので、事業所への働きかけ等も行っていきたいと考えております。
⑤ 移動支援について、現在1割負担なので負担額について検討してほしい。	現時点では見直しの予定はありませんが、利用者の声や他の地域生活支援事業の自己負担額とのバランスも考え、今後も引き続き検討していききたいと思います。
⑥ 居宅介護について、ヘルパーが足りないため時間帯によっては対応できない。人材確保が難しい。	鳥栖管内でのヘルパーの有効求人倍率が県全体の倍くらい高いという状況もあって厳しいということは認識しております。今後もハローワーク等と連携して情報共有していききたいと考えます。
⑦ 計画相談について、利用者が増加し続け受け入れできる事業所が足りなくなっており、セルフプランを行うなど綱渡り状態だと感じる。地域移行を進めるためには計画相談支援事業所が必要だと思う。	計画相談支援事業所については、重要な問題と認識しております。 自立支援協議会等を活用して事業所と連携を図っていききたいと思います。
⑧ 成年後見制度について、ニーズを考えるともっと利用者がいても良いように感じる。	市長申立のみだと、確かに少なくなっている部分はあると思います。P22に記載の通り、市としては28年度に要綱を改正して、報酬助成の対象者についても対象者を拡大しております。今後も制度改正の部分も含めて周知したいと思っております。